学生団体企画

高経大で「議員と話そう」

14日、若者らと7政治家

若者の政治への関心を高め、選挙の投票率向上につなげようと、高崎経済大の学生団体「TCUE投票ファクトリー」は14日、高崎市上並榎町の同大で、現職の国会議員や県議を招いたイベントを開く。議員との対話を通じて、政治を身近に感じてもらうのが狙い。学生や高校生といった若者や、地域住民らに参加を呼びかけている。

第1部は同市区選出の県議による討論で、自民党、リベラル群馬、公明党、共産党の各会派から計6人が参加予定。学生が進行役を務め、県政の課題やそれに対する考えを聞く。

第2部は福田達夫衆院議員（群馬4区）の講演と、若者との対談を予定。事前に募集した学生ら数人が登壇し、疑問や意見をぶつける。

各部で取り上げるテーマに反映させるため、興味がある政策分野や議員への質問などを聞くアンケートを実施した。10月2日には、イベントの参加とアンケートへの協力を呼びかけるチラシを大学構内で配布した。

TCUE投票ファクトリーは同大の増田正教授（政治学）のゼミ生による団体で、2013年に結成。投票率アップに向けた啓発活動を続けてきた。

今年2月の衆院選では、群馬1区と4区の立候補者のインタビュー動画を撮影し公開。反響は大きかったものの、視聴者の年齢層は「思ったより高かった」と分析する。「届けたい人に届いていなかったのかもしれない」と、今回のイベントを企画した。

団体メンバーで、第1部の討論会で進行役を務める三原拓仁さん（3年）は「報道で見る政治は『不祥事』のイメージがあるかもしれない。実際に議員に会うと考え方が変わるはず」と話す。来春に控える統一地方選も踏まえ「投票に行ってみようと思うきっかけになればうれしい」と参加を呼びかける。

イベントは午後0時半開始。問い合わせはメールで同団体（miharatkt1357@gmail.com）へ。

（石原千愛）



11月のイベントに向け、学生（左）にチラシを配る団体メンバー

2026.10.31.上毛新聞 社会面
（掲載許可取得済み）